

教化名	年間授業時数	学年
保健体育	保健 19 時間 体育 98 時間 計 117 時間	2
授業形態	指導者名	
2クラス合同・3学年合同 (縦割り授業)	森 逸美・柏木 洋輝	

教科書(発行所)	最新 中学校保健体育(株式会社 大修館書店)
教科書以外の教材(発行所)	デジタル版中学体育実技 2025 版[クラウド版](株式会社 学研教育みらい)

目 標	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。</p>
学習のねらい	<p>《体育分野》</p> <p>1 体づくり運動 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解するとともに、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。</p> <p>2 器械運動 技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技がよりよくできるようにする。</p> <p>3 陸上競技 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解し、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。</p> <p>4 球技 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的なボールや用具、バット操作と仲間と連携した動きで攻防を展開できるようにする。</p> <p>5 武道 技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。</p> <p>6 ダンス 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。</p>

7 体育理論：運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方

運動やスポーツの合理的な実践を通して、生涯にわたり豊かに運動やスポーツに親しむ資質・能力を育てるとともに健康の保持増進を図るためには、その意義や効果、学び方、安全に運動やスポーツを行う必要性やその方法について理解できるようにする。

《保健分野》

1 健康な生活と疾病の予防

(ア)生活習慣病などの予防

①生活習慣病の予防

生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できることを、例えば、心臓病、脳血管疾患、歯周病などを適宜取り上げ理解できるようにする。

②がんの予防

がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。

(イ)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

①喫煙と健康

喫煙については、たばこの煙の中にはニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れること、また、常習的な喫煙により、がんや心臓病など様々な疾病を起こしやすくなることを理解できるようにする。

②飲酒と健康

飲酒については、酒の主成分のエチルアルコールが中枢神経の働きを低下させ、思考力、自制力、運動機能を低下させたり、事故などを起こしたりすること、急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ることもあることを理解できるようにする。

③薬物乱用と健康

薬物乱用については、覚醒剤や大麻を取り上げ、摂取によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物の連用により依存症状が現れ、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きることを理解できるようにする。

2 傷害の防止

(ア)交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因

交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生すること、人的要因としては、人間の心身の状態や行動の仕方について、環境要因としては、生活環境における施設・設備の状態や気象条件などについて理解できるようにする。

(イ)交通事故などによる傷害の防止

交通事故などによる傷害を防止するためには、人的要因や環境要因に関わる危険を予測し、それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要であることを理解できるようにする。

(ウ)自然災害による傷害の防止

自然災害による傷害は、例えば、地震が発生した場合に家屋の倒壊や家具の落下、転倒などによる危険が原因となって生じること、また、地震に伴って発生する、津波、土砂崩れ、地割れ、火災などの二次災害によっても生じることが理解できるようにする。

	<p>(エ)応急手当の意義と実際</p> <p>⑦応急手当の意義 傷害が発生した際に、その場に居合わせた人が行う応急手当としては、傷害を受けた人の反応の確認等状況の把握と同時に、周囲の人への連絡、傷害の状態に応じた手当が基本であり、迅速かつ適切な手当は傷害の悪化を防止できることを理解できるようにする。</p> <p>⑧応急手当の実際 胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)使用などの心肺蘇生法、包帯法や止血法としての直接圧迫法などを取り上げ、実習を通して応急手当ができるようにする。</p>		
<p>定期考査</p>	<p>出題方針</p>	<p>・教科書の内容を中心に、ノート・教材プリントなどから出題する。</p>	
	<p>範囲 (予定)</p>	<p>第1回考査</p>	<p>なし</p>
		<p>第2回考査</p>	<p>体づくり運動・陸上競技・球技・保健 など</p>
		<p>第3回考査</p>	<p>なし</p>
		<p>第4回考査</p>	<p>なし</p>
<p>学年末考査</p>		<p>陸上競技・球技・ダンス・保健 など</p>	
<p>評価の観点 ・評価の方法</p>	<p>・評価の観点は、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力など、③主体的に学習に取り組む態度、の3項目とする。</p> <p>《体育分野》</p> <p>・評価の方法は、自己評価・相互評価・レポート提出・運動技能テスト・出席状況など、により、総合的に観点別に評価する。</p> <p>・毎時間が評価の対象であり、数回の運動技能テストも行う。</p> <p>《保健分野》</p> <p>・評価の方法は、定期考査・提出したノートやレポートなどの記述内容、出席状況など、により、総合的に観点別に評価する。</p>		
<p>先生からアドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、 ノートの取り方など)</p>	<p>《体育分野》</p> <p>・更衣を早くして、授業には遅刻しない。</p> <p>・体調の自己管理をし、体調が悪いときには担当教師に申し出る。[付箋などを活用]</p> <p>・準備物を整えて、忘れ物をしない。</p> <p>《保健分野》</p> <p>・保体ファイルやノートなど、提出物を大切に使う。</p> <p>ファイルやノートなど記述内容の評価は大きいので、しっかりと考察して提出しましょう。</p> <p>・準備物を整えて、忘れ物をしない。</p>		

年間授業計画表（45分授業）

学期	月	学習内容	時数	学習のポイント
前期	4	・体づくり運動(体ほぐしの運動)	6	・自己の体に気付き、仲間と交流する。 ・上級生と下級生の交流を深める。
	5	・体づくり運動(体力を高める運動)	6	・互いに協力しながら、体力を高める。
		・陸上競技(短距離走・リレー)	6	・安全に留意し、基本技術を習得する。
	6	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	4	・互いに協力しながら、手際よく測定できるようにする。
		・球技(男子:バスケットボール) (女子:ソフトボール)	12	・運動やスポーツについて理解を深める。
	7	・健康な生活と疾病の予防	4	・安全に留意し、互いに協力しながら、基本技術を習得する。また、練習やゲームを行う。
		《第2回考査》		・生活の中で、改善や実践の仕方を理解する。
	8 9	・ダンス(フォークダンス)	6	・互いに協力しながら練習を行う。
		・球技(ハンドボール)	6	・安全に留意し、互いに協力しながら、基本技術を習得する。また、練習やゲームを行う。
		・球技(卓球)	6	・安全に留意し、互いに協力しながら、基本技術を習得する。また、練習やゲームを行う。
・健康な生活と疾病の予防		4	・安全に留意し、互いに協力しながら、基本技術を習得する。また、練習やゲームを行う。 ・生活の中で、改善や実践の仕方を理解する。	
後期	10	・球技(ハンドボール)	12	・安全に留意し、互いに協力しながら、基本技術を習得する。また、練習やゲームを行う。
	11 12	・球技(卓球)	12	・安全に留意し、互いに協力しながら、基本技術を習得する。また、練習やゲームを行う。
		・傷害の防止	11	・安全に留意し、互いに協力しながら、基本技術を習得する。また、練習やゲームを行う。 ・生活の中で、改善や実践の仕方を理解する。
	1	・陸上競技(長距離走)	10	・自分の目標を立て、ペースを設定して安定したタイムで走ることを最上位の目標とする。
		・球技(男子:ソフトボール) ・ダンス(女子:ダンス)	12	・安全に留意し、互いに協力しながら、基本技術を習得する。また、練習やゲームを行う。
	2 3	《年度末考査》		
	総時間数			117

教科名	年間授業時数	学年
技術・家庭科（技術分野）	39	2
授業形態	指導者名	
一斉授業	木挽屋 菜摘	

教科書（発行所）	技術・家庭 技術分野（開隆堂）
教科書以外の教材（発行所）	技術・家庭ノート（開隆堂）

目 標	生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。		
学習のねらい	<p>B 生物育成の技術</p> <p>(1) 生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。</p> <p>イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。</p> <p>(2) 生活や社会における問題を、生物育成の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができること。</p> <p>イ 問題を見いだして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。</p> <p>(3) これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。</p> <p>イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。</p> <p>C エネルギー変換の技術</p> <p>(1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解すること。</p> <p>イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。</p> <p>(2) 生活や社会における問題を、エネルギー変換の技術によって解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができること。</p> <p>イ 問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること。</p> <p>(3) これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。</p> <p>イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。</p> <p>D 情報の技術</p> <p>(1) 生活や社会を支える情報の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について理解すること。</p> <p>イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。</p>		
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、ノート、授業内容、教材プリントなどから出題する。	
	範 囲 (予定)	第1回考査	実施しない
		第2回考査	B 生物育成の技術
		第3回考査	実施しない
		第4回考査	実施しない
年度末考査	C エネルギー変換の技術 D 情報の技術 ・情報とコンピュータ		
評価の観点・ 評価の方法	<p>○評価の観点は、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3項目である。</p> <p>○具体的な評価は、定期考査、授業中での作品、教材プリント、レポートなどを適正に活用して総合的に行う。</p> <p>また必要に応じて自己評価も取り入れる。</p>		
先生からアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	<p>技術は、実践的・体験的な学習活動を通して、生物育成や情報の基礎的な知識と技能を習得するとともに、生物育成やエネルギー変換、情報の学習を通して、将来の自分の夢を実現するときにいかされる技術的素養を身に付ける学習です。技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を身に付けることが大切です。学習を通して、将来の自分の夢を実現するときにいかされる技術的素養を身に付けましょう。</p>		

年間授業計画表(45分授業)

期	月	学習内容	時数	学習のポイント
前期	4	○生物育成の技術 ●生活や社会を支える生物育成の技術 ●さまざまな生物育成の技術	6	<ul style="list-style-type: none"> ・作物を栽培する意義について知る。 ・動物を飼育する意義について知る。 ・水産生物を栽培する意義について知る。 ・森林を育成する意義について知る。 ・作物、動物、水産生物の育成環境の調節方法について知る。 ・作物、水産生物の栽培、森林の育成の管理作業について知る。 ・動物の飼育の管理作業について必要な技術を知る。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の栽培技術 ・動物の飼育技術 ・水産生物の栽培技術 ・森林の育成技術 		
	6	●生物育成の技術による問題解決 ・栽培ごよみを知る。 ・栽培計画を立てる。 ・土づくり、肥料について知る。 ・収穫の方法と保存について知る。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術を利用した問題解決の手順を知る。 ・設定した課題に応じて、ベビーリーフの育成計画を立てる。 ・設定した課題の解決状況を評価するため、作物の生育状況と、育成環境の調節、成長の度合いなどのデータを記録する。
	7	●生物育成の技術と私たちの未来 《第2回考査》		<ul style="list-style-type: none"> ・技術の見方・考え方から生物育成の技術の学習について振り返る。 ・生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方について考える。
後期	9	○エネルギー変換の技術 ●生活や社会とエネルギー変換の技術 ・エネルギーとエネルギー変換 ・燃料を利用した技術 ・発電と送電のしくみ ・エネルギー変換と効率 ・電気の利用	6	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換の技術が生活や社会に果たしている役割について考える。 ・エネルギー資源の種類や、エネルギーが利用されるまでの流れを知る。 ・発電方法の長所・短所を比較し、安定して発電するための仕組みを知る。 ・送電の仕組みを知る。 ・身近な電気機器の構成を、回路図を使って表す方法を理解する。
	10	●エネルギー変換を利用した問題解決 ●機器の安全な利用と保守点検	8	<ul style="list-style-type: none"> ・はんだごてを用いて、安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。 ・家庭で起こる電気の事故と原因について調べ、それらを防止するための仕組みや電気機器の定格について知る。 ・工具や回路計を用いて、テーブルタップ等の電気機器の保守点検を行う。 ・電気機器の手入れや点検について知り、事故防止の具体的な方法を身に付ける。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・電気機器の構造 ・電気機器の安全な利用 ・電気機器の保守点検 	2	
	12	●運動の利用 ・力の伝達 ・運動を変化させるしくみ ●これからのエネルギー変換の技術	3	<ul style="list-style-type: none"> ・動力を伝える仕組みが用いられている身近な製品とその理由を考える。 ・機械的に力や運動を保存し、利用する仕組みを調べる。
	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方を考える。 ・エネルギー変換の技術を利用することで実現される持続可能な社会について考える。
	2	○情報の技術 ●生活や社会と情報の技術 ●情報とコンピュータ ・プログラムの構造と表現	6	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術に関する製品やサービスに込められた工夫や仕組みを調べる。 ・処理の流れや手順を表す方法を知る。 ・順次・処理・反復のプログラムの基本を確認し、変数や配列及びイベントを利用したプログラムの制作、動作の確認及びデバッグを行う。
	3	《年度末考査》		
総時間数			39	

教科名	年間授業時数	学年
技術・家庭科（家庭分野）	39	2
授業形態	指導者名	
前期：一斉授業 後期：一斉授業	小山有紀	

教科書（発行所）	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
教科書以外の教材（発行所）	中学校技術・家庭科用 技・家ノート 家庭分野（開隆堂）

目 標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>		
学 習 の ね ら い	<p>A 家族・家庭生活</p> <p>(3) 家族・家庭や地域との関わり</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解すること。</p> <p>(イ) 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解すること。</p> <p>イ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫すること。</p> <p>B 衣食住の生活(衣・住生活)</p> <p>(4) 衣服の選択と手入れ</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。</p> <p>(イ) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。</p> <p>イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。</p> <p>(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作</p> <p>ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。</p> <p>イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。</p> <p>(6) 住居の機能と安全な住まい方</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること。</p> <p>(イ) 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。</p> <p>イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。</p> <p>C 消費生活</p> <p>(1) 金銭の管理と購入</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。</p> <p>(イ) 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。</p> <p>イ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。</p> <p>(2) 消費者の権利と責任</p> <p>ア 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。</p> <p>イ 身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。</p>		
定期考查	出題方針	教科書とノートの内容を中心にプリント、ワークシートからも出題する。	
	範 囲 (予定)	第2回考查	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択と手入れ ・生活を豊かにするための布を用いた製作
		年度末考查	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の機能と安全な住まい方 ・金銭の管理と購入 ・消費者の権利と責任
評価の観点・ 評価の方法	<p>・評価の観点は家庭科の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3点とする。</p> <p>・授業への取り組み方、発表・プレゼン・レポート、ワークシートの記述等から総合的に評価する。</p>		
先生からのアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートのとり方など)	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしない。 ・時間を守る。 ・人の話を集中して聞く。 ・課題をきちんと行い提出する。 ・学習内容を家庭で実践する。 ・自らの家庭生活を見つめ、家庭生活に対する課題や考えをもつ。 		

年間授業計画表(45分授業)

学期	月	学習内容	時数	学習のポイント	
前期	4	○衣服の働きと手入れ ①どうして衣服を着るのだろう	1	・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。	
	5	○衣服の選択と着方 ①新たに衣服が必要になったとき ②既製の選び方 ③自分らしい着方 ④和服の文化に触れてみよう。	1 1 1	・和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ・自分の衣服計画が立てられる。 ・既製服を選ぶポイントがわかる。	
	6	○衣服の働きと手入れ ②衣服は何でできているのだろう ③衣服の手入れ ④洗濯の準備 ⑤洗濯機で洗濯してみよう ⑥補修や収納・保管	1 2 2 1 3	・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ・取扱表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ・衣服の素材に合った洗剤を選び、適切な量を使用できる。 ・衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ・衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	
	7	○布を用いた作品で生活を演出	2	・布を用いて生活を豊かにするものを考える。	
	<第2回考査>				
	8 9	○布を用いた作品で生活を演出	3	・製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。	
	後期	10	○布を用いた作品で生活を演出	2	
			○人間にとっての住まい ○生活に必要な住空間 ①生活行為と空間 ②家族の変化と心地よい空間の使い方	1 1 1	・住まいの基本的な役割について理解する。 ・住空間の使い方を考えて、工夫することができる。
		11	○自然と共にある住生活 ○安全で健康的な住生活 ①家庭内事故への備え ②室内環境を健康に保つ ③災害へ備えた空間	1 2 1 2	・日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ・家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ・幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する ・地域さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。
12		○持続可能な住生活	1	・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。	
		○家庭生活と消費	2	・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活のしくみがわかる。	
1		○購入・支払いと生活情報 ①購入の時に考えること ②商品情報から見えること ③いろいろな購入方法 ④現金以外の支払い方法	1 1 1 1	・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。 ・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。	
2		<年度末考査>			
		○関わり合う地域と家庭 ①生活を支える地域 ②地域に暮らす高齢者 ④様々な人々が暮らす地域	1 1 1	・家庭生活は地域とのかかわりで成り立っていることがわかる。 ・地域に暮らす様々な高齢者について理解するとともに、関わり方を考える。	
総時間数			39		

教科名		年間授業時数	学年
英語（英語・英語C）		195	2
授業形態	指導者名		
習熟度別による少人数授業および一斉授業	下崎麻衣子・岡田康隆・Kevin Phiefer		

教科書（発行所）	NEW HORIZON English Course2（東京書籍）
教科書以外の教材（発行所）	<ul style="list-style-type: none"> ・実力練成テキスト2（文理） ・中高一貫テキストNEW TREASURE Stage1・2（Z会出版） ・NEW TREASURE 文法問題集1・2（Z会出版） ・Listening Compass Introductory II（Z会出版） ・REAL II（新学社）

目 標	外国語（英語）によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やりとり）（発表）」、「書くこと」の言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。								
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の4技能5領域（「聞くこと」「話すこと（やりとり）（発表）」「読むこと」「書くこと」）をバランスよく学習する。 ・200語程度のまとまった英語を聞いて、その内容を理解することができる。 ・質問・応答・交渉・言い換え・論理的な自己表現などができる。 ・300語程度のまとまった英語を読んで、その内容を理解することができる。 ・基本的な文法・語いを使って、200語程度のまとまった英語を書くことができる。 								
定期考査	出題方針	中高一貫テキストNEW TREASURE の内容を中心に、検定教科書にも触れながら、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。Listening Comprehensionは必ず行う方針である。							
	範囲 (予定)	<table border="1"> <tr> <td>2回考査</td> <td>中高一貫テキストStage1 Lesson10、11、12 検定教科書内容</td> </tr> <tr> <td>3回考査</td> <td>中高一貫テキストStage1 Lesson12、Stage2 Lesson1、2、3 検定教科書内容</td> </tr> <tr> <td>4回考査</td> <td>中高一貫テキストStage2 Lesson3、4 検定教科書内容</td> </tr> <tr> <td>年度末考査</td> <td>中高一貫テキストStage2 Lesson4、5</td> </tr> </table>	2回考査	中高一貫テキストStage1 Lesson10、11、12 検定教科書内容	3回考査	中高一貫テキストStage1 Lesson12、Stage2 Lesson1、2、3 検定教科書内容	4回考査	中高一貫テキストStage2 Lesson3、4 検定教科書内容	年度末考査
2回考査	中高一貫テキストStage1 Lesson10、11、12 検定教科書内容								
3回考査	中高一貫テキストStage1 Lesson12、Stage2 Lesson1、2、3 検定教科書内容								
4回考査	中高一貫テキストStage2 Lesson3、4 検定教科書内容								
年度末考査	中高一貫テキストStage2 Lesson4、5								
評価の観点・ 評価の方法	評価の観点は、知識・技能、思考・判断・表現、表現の能力、主体的に学習に取り組む態度の3項目とする。具体的な評価は、定期考査を中心に、授業ファイルの作成と提出した内容、小テスト、その他の提出物を含む課題、授業への取組状況等を適切に活用して総合的に行う。								
先生からアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	<p>●英語学習の進め方と重要性</p> <p>中学2年生の英語学習では、標準コースと発展コースの2つの選択肢があり、それぞれに応じた指導が行われます。英語教育は「実践的なコミュニケーション能力を育む」ことを目指しており、これは基礎的な知識の習得だけでなく、実際に使える力を養うことに重点が置かれています。標準コースでは、基本的な文法や語彙の定着を図りながら、確かな言語基盤を築くことが求められます。発展コースでは、より高度な文法や語彙の使い方を学び、実際の言語使用場面に即した応用力を育てます。どちらのコースにおいても、学習はただの知識の習得にとどまらず、それを実際のコミュニケーションに活かすことが最も重要です。</p> <p>●予習・授業・復習のサイクルを意識する</p> <p>学習において、最も大切なのは予習、授業、復習のサイクルを意識して学習することです。このサイクルは、ただ単に知識を吸収するだけでなく、その知識を定着させ、活用できるようにするための基本的な方法です。</p> <p>①予習では、これから学ぶ内容を事前に確認しておきましょう。教科書や参考書を使って、どんなテーマや文法事項が扱われるかを把握します。予習を通して、自分がどこでつまずきやすいのかを見極め、授業でその疑問を解消できるようにしましょう。予習段階で疑問に思ったことを積極的にノートに書き出し、授業で質問する姿勢を持つことが大切です。②授業では、ただ受け身で学ぶのではなく、能動的な学びを心がけましょう。特に言語活動においては、発音を大切に、積極的に声に出して練習することが重要です。英語の発音は、実際に声に出してみないと身につかない部分が多いため、積極的に発音練習を行いましょ。また、ペアワークやグループワークでは、他の生徒と協力してお互いに学び合うことが成長につながります。目標を明確に持ち、授業に臨むことで、学びの効果が格段に高まります。③復習では、授業で学んだ内容を定期的に振り返り、確認することが不可欠です。音読をすることで、語感を養い、英語のリズムや発音に慣れることができます。また、書き取りや文法練習を行い、知識を深めるとともに、実際に自分の言葉で表現できる力をつけていきましょう。特に、反復練習を欠かさず行うことが、言語の習得には不可欠です。</p> <p>●ALT（外国語指導助手）との授業の活用</p> <p>ALTの先生との授業では、実際に外国の文化や言語環境に触れることができます。これは、教室内で学んだ知識を実際に使う貴重な機会です。積極的に発話をして、学んだ表現や文法を実際の会話で使うことで、英語を「使える言語」として身につけることができます。</p> <p>●家庭学習の重要性</p> <p>毎日の家庭学習は、1時間以上の取り組みを目安に計画的に進めましょう。学習指導要領では、家庭学習を通じて自学自習の習慣を身につけることが重要視されています。英語は毎日少しずつでも学習を重ねることで、確実に力をつけていきます。復習だけでなく、新しい知識に対しても積極的にアプローチしていきましょう。</p> <p>英語学習を進める上で大切なことは、単に教科書を暗記するのではなく、実践的な言語運用能力を高めることです。</p>								

年間授業計画表(45分授業)

期	月	学習内容			時数	
前期	4	Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 What can we experience on a trip?	<ul style="list-style-type: none"> 一般動詞の過去形, canの文 疑問詞 be going to 未来形 will 接続詞 SVOO, SVOC 	前学年の復習 Lesson 10 Let's Drink and Eat Water Bubbles	<ul style="list-style-type: none"> 未来を表す表現 (be going to~) いろいろな助動詞 (will / can / may / must) 	19
	5	Unit 2 What is local food?		Lesson 11 What can we do for the world?	<ul style="list-style-type: none"> There is (are) ~の文 数や量の多少を表す表現 	19
	6	Unit 3 What kind of job are you interested in? Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞(形容詞的用法、副詞的用法と名詞的用法) 好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書く 	Lesson 12 Languages in India	<ul style="list-style-type: none"> 比較 better, the best (原級・比較級・最上級) 	19
	7	《 2回考査 》		《 2回考査 》		
	8	Let's Read 1 History of Clods	<ul style="list-style-type: none"> 速読(説明文) 	復習		5
	9	Unit 4 What is important in a homestay? Unit 5 What design is good for everyone?	<ul style="list-style-type: none"> have to~/don't have to~ 助動詞 will/must/must not how to S+V sure that S+V 	Lesson 1 14-year-olds around the the World Lesson 2 The impact of Non-Native Species	<ul style="list-style-type: none"> 命令文、and / or.... 接続詞when 接続詞that 接続詞if / 理由、譲歩を表す接続詞 	19
	10	Unit 6 How can we make a good presentation?	<ul style="list-style-type: none"> 比較級 最上級 as~as... 	Lesson 3 The World Favorite Children's Author	<ul style="list-style-type: none"> 文構造 (SV/SVC/SVO) 	19
	11	《 3回考査 》 Stage Activity 2 My School and School Life	<ul style="list-style-type: none"> クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表する 	Lesson 4 Takashi's Speech about the Sanshin	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞 (名詞用法、副詞用法、形容詞用法) 	19
	12	《 4回考査 》		《 4回考査 》		
後期	[冬季休業中]					
	1	Let's Read 2 A Glass of Milk Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? Stage Activity 3 Let's Have a Discussion	<ul style="list-style-type: none"> 速読(物語文) 受動態 自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴や良い点を伝える 	Lesson 5 Disney and Ghibli Fascinate the World	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞 不定詞と動名詞 	19
	2	《 年度末考査 》		《 年度末考査 》		19
	3	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	<ul style="list-style-type: none"> 私の好きなこと・もの 速読(伝記) 	Lesson 6 Forests in Sumatra	<ul style="list-style-type: none"> 受け身形 	19
《 スプリングチャレンジ 》						
総 時 間 数					195	

第2学年 道徳年間指導計画

学校の教育目標	科学的思考力と創造力を身に付け、21世紀の社会を各分野で主体的に担っていくことができる生徒の育成 幅広い知識と国際的な感覚を身に付け、国際社会で活躍できる知的バランスのとれた生徒の育成 豊かな人間性をもち、自分を律し他を尊重しながら個性を伸長する意欲ある生徒の育成	教科書 検定教科書「自分を考える」
学年の重点項目	自らのよさを伸ばすとともに他者の立場を尊重し、ともに高める態度を育てる。	

月	主題名	内容項目	資料名	ねらい
4	オリエンテーション		「道徳」の時間のオリエンテーション	道徳の時間について考え、意義と重要性を理解し今後の学習を通してよりよく生きていこうとする態度を育てる。
	自分を輝かせる	A-(3)	虎	虎の一役にかけて八輪の心の変化と、舞台後の涙のわけについて考えることを通して、自分らしさを発揮することのよさに気づき、個性を伸ばして充実した生き方を追求していこうとする道徳的実践意欲を培う。
	本当のコミュニケーション	B-(7)	いつでも・どこでも・誰とでも	レストランの出来事における「私」の問題とその解決について考えることを通して、礼儀の根底にある人間尊重の精神の大切さに気づき、時と場に応じた適切な言動で、他者を愛する心を伝えていこうとする道徳的実践意欲を高める。
	自然の雄大さや悠久さ	D-(20)	樹齢七千年の杉	縄文を前にして心動かされる筆者の思いを共感的に理解することを通して、人間の力を越えた自然の雄大さや悠久さに気づき、畏敬の念をもって自然を愛する道徳的実践意欲を育む。
5	誠実に責任をもつ	A-(1)	ジョイス	狼審の翌日も球審を務めようとするジョイスに対する、ガララガやタイガースの監督の心情を共感的に理解することを通して、誠実な生き方のよさに気づき、自律的な行為の結果に責任をもち、人間としての誇りを大切にすることを通して道徳的実践意欲を育む。
	新しいものを生み出す	A-(5)	ガストロカメラ	多くの困難と失敗を乗り越えて、胃カメラという未知のアイデアを実現させた杉浦陸夫、宇治達朗らを支えていた思いについて考えることを通して、真実を大切に、真理を探究して新しいものを生み出していこうとする道徳的実践意欲を培う。
	相互理解の大切さ	B-(9)	野生の猛禽を守るために	一人のハンターとの出会いから、筆者が気づいたことについて考えることを通して、相互理解を図ることの大切さに気づき、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、他者のもの見方や考え方を学んでいこうとする道徳的実践意欲を育む。
	節度、節制	A-(2)	これは駄目？ これも駄目？	節度や節制に関わる具体的な例について、自分の判断の基準を見つめ、話し合うことを通して、節度を守り、節制に心がけて、心身ともに健康で安全な生活を送ろうとする道徳的実践意欲を高める。
6	生きることの意味	D-(19)	燃え盛る炎	難病に向かい合い生き抜いた石川正一君の姿から、人が「生きる」ということについて考えることを通して、かけがえのない生命を尊び、限りある人生を懸命に生きていこうとする道徳的実践意欲を育む。
	いじめの醜さ	C-(11)	君、想像したことある？	いじめの卑劣さを訴える春名風花さんの主張を共感的に理解することを通して、いじめをする人間の醜さに気づき、自分の弱さに打ち勝って、差別や偏見、いじめのない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。
	高い目標に挑戦する生き方	A-(4)	「キング」と呼ばれる理由 ― 三浦 知良 ―	ワールドカップ出場を目指し、その夢が破れてもおなサッカーを続ける三浦知良選手の生き方について考えることを通して、高い目標に挑戦していくことの素晴らしさに気づき、困難や失敗に直面しても、希望や勇気を失わずに努力を続けていこうとする道徳的実践意欲を培う。
	感謝の心	B-(6)	ありガトオヨ	加藤だいさん、橋本公男さん夫妻、加藤はつ江さんの心の交流から、感謝の心のよさや大切さについて考えることを通して、人間愛の精神を深め、人と人との支え合いを可能にする思いやりや感謝の心を大切にすることを通して道徳的実践意欲を育む。
7	郷土に受け継がれた伝統や文化	C-(16)	相馬野馬追の季節	東日本大震災で大きな被害を受けたながら、葛藤を乗り越えて相馬野馬追を開催した相馬地方の人々の思いについて考えることを通して、郷土に受け継がれた伝統文化のよさや大切さに気づき、地域社会の一員として郷土の伝統と文化を大切にしていこうとする道徳的実践意欲を培う。
	自分を輝かせる集団	C-(15)	明かりの下の燭台	チームの勝利のために献身し、マネージャーに徹した鈴木恵美子さんの生き方について考えることを通して、集団における自分の役割と責任を自覚し、集団生活の充実を努めていこうとする道徳的実践意欲を培う。
	社会の規律を守る	C-(10)	私の銀蔵	「お天道様が見てござる」と借金を返そうとする人々の姿から、銀蔵が気づいたことについて考えることを通して、社会の規律を守ろうとする規範意識の大切さに気づき、自他の権利を大切に、義務を果たしていこうとする道徳的実践意欲を高める。
	真の友情	B-(8)	嵐のあとに	嵐の熱を経て、明夫とつとみと手を握り合う勇太の心の変化について考えることを通して、心から信頼し合うことの大切さに気づき、相互に変わらない信頼と相手に対する敬愛の念に基づく真の友情を育んでいこうとする道徳的実践意欲を培う。
9	自らを律し、誠実に実行する	A-(1)	小さなこと	小さい自分のしつけを続けている筆者の生き方について考えることを通して、自らを律して誠実に実行していくことのよさや大切さに気づき、自らの規範意識を高め、自律的に生きていこうとする道徳的実践意欲を育む。
	人間の素晴らしさ	D-(22)	ネパールのビール	チェリが帰ってくるまでの筆者の心の動きを共感的に理解することを通して、人を信じることのできない弱さとそれを乗り越えたいと願う気高さに気づき、人間としての誇りや深い人間愛を大切に、生きる喜びを見出していこうとする道徳的実践意欲を培う。
	仕事への誇り	C-(13)	加奈子の職場体験	カットを進める安田さんの背中を見つめる加奈子の思いについて考えることを通して、働くことの厳しさや仕事への誇りに気づき、勤労の尊さや意義を理解して、自分の将来の生き方を考えていこうとする道徳的実践意欲を培う。
	家族の深い愛情	C-(14)	尊い玉子	「私」の話を聞いた家の主人の思いについて考えることを通して、家族の無私的な愛情の尊さに気づき、自らの健やかな成長と幸福を願う家族への感謝と敬愛の念を深める道徳的実践意欲を育む。
10	人間の強さ、気高さへの感動	D-(21)	人間であることの美しさ	アンデルセン選手に「人間だけが表現しうる美しさ」を感じた筆者の心情について考えることを通して、人間の強さ、気高さに感動する心に気づき、自らの感動を大切にすることを通して道徳的実践意欲を育む。
	社会の規範を守る	C-(10)	傘の下	自分の都合で他人の傘を持ち帰り、元に戻した「僕」の行為の問題について考えることを通して、公徳を重んじ、社会の規範を守ることの大切さに気づき、自他の権利を大切に、義務を果たして規律ある社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。
	責任ある行動	A-(1)	お前のカワウンがさびしがっているぞ	父の言葉から筆者が気づいたことについて考えることを通して、責任ある行動の大切さに気づき、自主的によく考えて判断し、誠実に実行して、結果に責任をもつ道徳的実践意欲を高める。
	正義を重んじる心	C-(11)	路上に散った正義感	社説と投書者の意見から、よりよい社会の在り方について考えることを通して、社会生活における正義の大切さに気づき、正義と公正さを重んじ、不正を憎み、不正な言動を断固として許さない社会の実現に努める道徳的実践意欲を培う。
11	生きるということ	D-(19)	天使の舞い降りた朝	母の最後のメッセージを受け止め、歌で生きていくと決めた「僕」の思いについて考えることを通して、「生きる」ということの多面性に気づき、限りある自分の人生を懸命に生きていこうとする道徳的実践意欲を培う。
	気高く生きようとする心	D-(22)	タッチアウト	自分の過失を隠したことについて、良心の呵責を感じ続ける「僕」の思いについて考えることを通して、人間のもつ気高く生きようとする心に気づき、自らの弱さや醜さを克服して、よりよく生きようとする道徳的実践意欲を育む。
	思いやりの心	B-(6)	最後の年越しそば	最後の掃宅をやめて、お年寄りに年越しそばを振る舞う父の生き方について考えることを通して、思いやりの心の大切さに気づき、温かい人間愛の精神をもって、人と人との支え合いを大切にすることを通して道徳的実践意欲を育む。
	家族への敬愛	C-(14)	一冊のノート	ノートにつづられた祖母の思いを知り、祖母と並んで草取りをする「僕」の心の動きについて考えることを通して、家族を敬愛し、家庭の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築こうとする道徳的実践意欲を培う。
12	人と国との関わり	C-(17)	国	二つの祖国をもつ王貞治さんの考えから、人と国との関わりについて考えることを通して、日本に生きる者としての自覚をもって、国家及び社会の形成者としてその発展を願う道徳的実践意欲を育む。
	夢や目標に向かって	A-(4)	本物の将棋指し ― 村山 聖 ―	病を抱えながらも、将棋に一生を捧げた村山聖さんの生き方について考えることを通して、夢や目標に向かって生きる大切さに気づき、困難や失敗を恐れず、自らの夢や目標に向かって努力していこうとする道徳的実践意欲を培う。
	ともに生きる社会	C-(12)	迷惑とは何ぞ	映画の登場人物の思いを共感的に理解し、筆者の主張について考えることを通して、社会連帯の大切さに気づき、社会に暮らす人々と互いに支え合い、ともによりよく生きていこうとする道徳的実践意欲を培う。
	信頼と敬愛の念	B-(8)	アイツとセントバレンタインデー	真一と夏樹それぞれの行動について話し合い、二人のよりよい関係について考えることを通して、異性間においても相手と理解し合うことの大切さに気づき、信頼と敬愛の念をもってよりよい人間関係を築いていこうとする道徳的実践意欲を培う。
1	人間として誇りある生き方	D-(22)	足袋の季節	取り返しのつかない過ちを悔いる筆者の心情について考えることを通して、人間の弱さや醜さとそれを克服したいと願う心に気づき、自分に恥じない、人間として誇りある生き方を追求する道徳的実践意欲を培う。
	深い人類愛	C-(18)	最も悲しむべきことは、病めることでも貧しいことでもなく	誰もが人間らしい生活を送れるように尽力したマザー・テレサの生き方について考えることを通して、世界中の人々と協働し、互いに尊重し合いながら、国際平和と人類の幸福に寄与する道徳的実践意欲を培う。
	思いやりの温かさ	B-(6)	地図のある手紙	雪深い沼の原の墓前に一郎の手紙を配達し、墓前で代読する源さんの思いを共感的に理解することを通して、思いやりの心の温かさに気づき、人と人をつなぐ思いやりの心を大切にすることを通して道徳的実践意欲を培う。
	命の選択	D-(19)	看取りの医者	延命治療を希望しない桑田さんと、彼を支えようとする筆者の思いについて考えることを通して、人間としての尊厳をもって生きる大切さに気づき、生命の尊さについての理解を基に、自己の生き方を考え続けていこうとする道徳的実践意欲を培う。
3	節度・節制	A-(2)	情報機器と私たちの生活を考える	情報のルールを遵守し、確実に義務を果たすことで、よりよい社会をつくろうとする道徳的実践意欲を培う。
	国際理解・国際貢献	C-(18)	持続可能な社会を考える	どの国の人も同じ人間として尊重し、世界平和と人類の幸福に貢献しようとする道徳的実践意欲を育成する。
	1年間のふり振り返り		この一年間の自分をふり振り返り今後を考える	

教科名		年間授業時数	学年
サイエンス		39	2
授業形態	指導者名		
分割授業（1学級を2講座で展開）	武下晃慎 加門敏弘 瀬部圭史 奥野晃司		

目 標	<p>科学が社会生活において果たしている役割に目を向け、実験・観察・数学的活動を通じて、科学的に調べる能力と態度を育てる。さらに、一人一人が自分の考えについて他者と討論することによって、探究すること、説明をすること、根拠付けをすることなど問題の解決や探究活動に必要なスキルを身に付け、学んだ知識と組み合わせて問題解決的な学習を取り入れることにより、科学的思考力や創造力を養う。</p>
学習のねらい	<p>①論理的思考力を構成する様々な推論形式（ピアジェの形式的思考操作）を強化することによって、認知能力の促進・加速を図る。</p> <p>②グループやクラス全体の議論を通して十分な経験と反省をさせ、批判的思考、複眼的思考、分析的思考操作の方法を身に付ける。</p> <p>③各思考操作を、各作業を通じてその都度直接に習得させることを目的としているのではない。2年間の授業を通じて、形式的操作一般の能力の発達を加速・促進させるのがねらいである。</p>
評価の観点	<p>①課題を解決するために実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題解決に当たることができる。</p> <p>②形式的思考操作ができる。</p> <p>③他者の意見を論理的な思考によって判断し、その意見に対する自分の考えを持つことができる。</p> <p>④自分の意見を適切にまとめ、効果的な発表ができる。</p>
先生からアドバイス (授業の受け方、ノート の取り方など)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の結論を覚えたりする必要はありません。プリントは友達と討論するためのメモに過ぎませんので、その時間にしっかりと考えて自分の意見を述べるようにしましょう。 ・先生と対話したり、友だちと討議をしたりして考えを深めるという体験をしましょう。 ・グローバルで学習している言語技術の手法を活用して、意見が言えたり、文章が書けたりできるようになりましょう。

年間授業計画表（45分授業）

学期	月	学習内容	時数	学習のポイント	
前期	4	【組み合わせ】選択肢 (15)	2	<ul style="list-style-type: none"> すべての場合の数え上げを行う。 酵母菌、鉄さびについての実験を通して、「二つの「入力変数」が合わさって「結果の変数」が大きくなるような現象について考える。 コインの表が連続して出る頻度と試行回数との関係を調べ、確率的現象の振る舞いを知る。 特殊な能力を持つ人がいると仮定して、5回のうち何回当たればその人の能力を信じているかを考える。 状況の違う4か所を設定し、わらじ虫がどこに最もよく移動するかを調べ、得られたデータから考察を行う。 相関関係が何を意味するかを示す例を提示し、相関関係を理解することは確率を理解することに依存することを体験させる。 標本抽出の数量的検討を比と割合に関係づけて理解する。 確率の最後の活動としてサイコロを用いて確率の概念をまとめる。 観察したことをモデル化する。 複数の変数が関係して複合的な変数があることを確認し、複合した変数の使い方を理解する。 	
	5	【変数】相互作用 (16)	2		
		【蓋然性】コインを回す (17)	2		
	6	【蓋然性】紅茶の味見 (18)	2		
	7	【相関性】わらじ虫の行動 (19)	1		
		【相関性】処理と効果 (20)	1		
		【蓋然性】サンプリング：池の中の魚 (21)	1		
	8	【蓋然性】サイコロを投げる (22)	1		
	9	【形式的モデル】物質の状態・溶液・化学変化 (23・24・25)	2		
		【複合的な変数】圧力・浮かぶ・沈む (26・27)	2		
後期	10	【平衡】丘を登り、谷を下る (28)	2	<ul style="list-style-type: none"> 平衡を保つための条件を探る。 密度の概念を導入して複合的な変数について再度考察を行う。 てんびんの平衡を保つための条件を整理する。 	
		【複合的な変数】ダイバー (29)	1		
		【平衡】つりあいを取り戻す (30)	1		
	11	課題研究について オリエンテーション	(19) 1		
	12	課題研究の進め方 文献調査について 論文講読	1 2 2		
	1	ゼミを決めについて テーマ設定、検討	2 8		
	2	課題研究発表会参加	2		
	3	テーマ設定、検討	1		
					<ul style="list-style-type: none"> 課題研究発表会に参加し、質問やディスカッションを行う。
			総時間数		39